

## 事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 28日
2次評価日（課長等）	26年 3月 31日

1 事業名	林道整備事業		コード	24214
2 担当部課	部等	経済部	課等	農林水産課
	作成者	宮本 秀幸		
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち	
		政策	産業の振興	施策 農林漁業の振興
		予算科目	林道整備事業費	業務委託 一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助 なし

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	民有林に対する林業経営基盤の整備並びに林業振興等の主たる施設の改良及び整備		
目的	対象者	市民及び林業経営者	
	意図	林業振興	

5 事業の必要性	*事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由
林道は公共施設として森林造成に不可欠であり、利用により痛み等が発生するため、計画的に改良・整備を行なう必要がある。	

6 事業の全体計画	*各年度の取組計画		
予定全体事業費	128,600,000	円	事業期間 H20～H28
23年度まで	L = 310m		
24年度	舗装工 一式		
25年度	舗装工 一式		
26年度以降	舗装工 一式		

7 事業の実施内容	*各年度の進捗状況		
23年度まで	・林道志平線	舗装工	（道整備交付金）
	・林道横河山線	法面保護工	（災害）
	・林道常現寺線	舗装工	（単独）
24年度	・林道志平線	舗装工	（道整備交付金）
	・林道横河山線	法面保護工	（災害）
	・林道常現寺線	舗装工	（単独）
25年度	・林道赤渋山線	橋梁修繕工	（国庫補助金）
	・林道常現寺線	舗装工	（単独）
前年度の課題への対応	計画的に林道の補修等を行う		

## 8 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	91,630,966	23,513,700	32,928,000	16,625,000
経常経費	0	0	0	
臨時的経費	91,630,966	23,513,700	32,928,000	16,625,000
* 臨時的経費の説明	林道赤洪山線橋梁改修工事による			
② 人件費		2,560,000	2,560,000	2,560,000
正規職員の人数(人)		0.32	0.32	0.32
③ 合計コスト(①+②)	91,630,966	26,073,700	35,488,000	19,185,000
前年度比			136.1%	54.1%
財源				
一般財源	34,315,966	6,166,700	5,279,000	3,135,000
内訳				
特定財源	57,315,000	19,907,000	30,209,000	16,050,000
* 特定財源の説明	国の経済対策による補助事業費			

## ●事業の評価 (CHECK)

### 9 事業の進捗状況

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	71.3%	89.5%	115.1%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明	林道は天候、交通量等によっても破損するため、進捗率はだせない。			

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) ゲリラ豪雨が多発してきており、林道の荒れが毎年ひどくなってきている
	今後	(26年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) 国庫事業費を活用し、舗装整備を行うとともに、豪雨後の現場確認を行い、林道整備を順次行う

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、26年度以降に課題になること) 国庫補助事業等を活用し、舗装整備を行うとともに、豪雨時の被害の多い林道については、水切りの設置等の検討が必要
	(上記の課題をふまえて26年度に実施する、具体的な対応方法) 計画的に水切り等の設置を行う
課題への対応策	

## ●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---